

市民参加型ワークショップ グループ発表

■開催概要

開催時期: 令和4年10月～令和5年2月(全5回開催)

参加者数: 18歳以上で、金沢市内に在住又は通勤・通学されている方 合計90名(公募)

内 容: 5つのテーマごとに、10年後の金沢がどのようになっていると良いか、またそのためにはどのようなことが必要かをワークショップ形式にて議論し、グループ発表

テ ー マ: ① 魅力づくり (文化・芸術、観光)

② 暮らしづくり(福祉、環境、コミュニティ、安全・安心)

③ 人づくり (子育て、教育、生涯習)

④ 仕事づくり (新事業創出、産業振興)

⑤ 都市づくり (都市基盤、交通)

■ワークショップのながれ

アドバイザー講演

参加者に気付きを与えるような話題提供として、それぞれのテーマにおいて、他都市での経験があり、且つ金沢で活躍しているアドバイザーより、「外からの視点」で金沢の現状や未来への思いを講演



グループワーク

- ・「金沢市の強み・弱み」、「守りたいもの・変えたいもの」、「10年後どのようになっていると良いか」を議論
- ・そのための具体的な方策をとりまとめ



グループ発表

グループワークでまとめた内容を発表・共有



■グループ発表(抜粋)

テーマ① 魅力づくり(文化・芸術、観光)

・伝統文化、伝統工芸に関わる人材育成と市場拡大の機会創出

- －後継者養成プログラムを充実させ、技術力向上を消費者に見てもらう機会や小中高校で体験できる場を増やす
- －消費者に見てもらう機会や交流の機会の創出、クラウドファンディング等による支援金の確保
- －SNS やインフルエンサーを活用し、海外向け広報を強化し、観光コンテンツとして伝統文化を拡げる

・マーケティング力、プロモーション力の向上

- －芸術に関する情報を発信し、市民や観光客が芸術に触れる機会を増やす
- －若者が参加する仕組みづくり(アートイベント・ギャラリーなどの魅力発信、新しい価値観への対応)

・観光客の滞在日数の増加を目指した、伝統工芸と観光産業の連携

- －新たな観光スポットの造成、能登や加賀との広域連携、文化を体験できるアクティビティをつくる
- －DX や海外向けに情報発信、FAMトリップを活用することで、金沢を楽しいと思ってもらう

・伝統工芸を盛り上げる

- －伝統工芸と担い手のマッチング機会の創出のための取り組みを増やす
- －海外進出や新産業との掛け合わせ、観光と伝統文化の掛け合わせで価値向上、儲かる仕組みづくり

テーマ② 暮らしづくり(福祉、環境、コミュニティ、安全・安心)

・空き家や公民館など使われていない場所を活用し、同世代、多世代で交流できる場をつくる

- －広げていくためにデジタルの活用や広報誌の作成、イベントの企画周知を若者が担当する
- －広報の結果、人が集まり、色々な人が挑戦・経験できる場ができるとうい

・太陽光発電を積極的に取り入れる等、クリーンでエネルギー効率が良い持続可能な金沢

- －10年後の金沢はすべての家の屋根に太陽光発電がついていて、住宅のエネルギー効率が上昇
- －シェアサイクルができない冬でも、電気自動車のカーシェアリングができる
- －家に発電装置があれば、気候変動で災害が酷くなった際にも対応でき、災害に対する強靭性が高まる

・用水を活用した小型水力発電を、企業や研究機関、まちなかで起業を志している人が協力して取り組む

・雨や雪もしのげ、発電しながら、まちを巡ることができる軒下をつくる

・発電、交通、市民生活などについて、市民が話し合う場をつくる

・小学校を地域のコミュニティセンターとして、誰もが安心できる開かれた場所にする

- －色々な人が集うことで、地域間・世代間の差を解消
- －子どもが高齢者や障がいのある方などと交流することで、多様性を受け入れられる土壌を作る
- －自分の地域を知り、地域に誇りをもつような土壌を育てることにもつながる
- －メタバースやアバターなどテクノロジーを活用して、デジタルの中でも地域とつながれる環境も整備

テーマ③ 人づくり(子育て、教育、生涯学習)

- ・多様性を育むために人とつながり、交流が生み出される仕組みをつくる
 - －「みんな食堂」のような、アクティブシニアと子育て世代が集まり勉強や食事ができる場をつくる
 - －お一人様限定参加イベントで、新しいつながりづくりを促す
 - －趣味の活動で仲間づくり、仕事づくり(学んだ先にマネタイズができる環境をつくる)
- ・情報にたどり着けるわかりやすい仕組みをつくる
 - －LINEで子育て世帯や障がいをもつ方に指定の情報を配信するなど、属性を絞った配信を行う
 - －どんなテーマの学びがあるか、わかりやすくまとめた学習イベントのポータルサイトをつくる
- ・若い人が挑戦・発信できる環境づくりと教育の改革
 - －年齢関係なく意見が言い合える社会をつくる、地域の担い手として若者が参加できるようにする
 - －学校に権限委譲し、地域の状況に応じた最善・最良の教育ができるように変えていく
- ・市民が主体的に人・もの・金を回せる仕組みづくり
 - －学びを活かせる場がないと学ぶ気にもならない、続けられないため、活かせる事業をつくる
 - －お金のある高齢者からクラウドファンディングのような形で寄付を募り、財源をつくる

テーマ④ 仕事づくり(新事業創出、産業振興)

- ・子どもだけでなく大人も起業家も学べる環境づくり
 - －偏差値教育の打破、学校教育で学歴以外の専門軸をつくるために色んな学びでアプローチ
- ・職人や専門性を持つ人が生活でき、金銭的リターンのある社会づくり
 - －工芸作家や職人が集まる仕組みを作り、世界に打ち出して成長できるように新しい仕事をつくる
 - －職人のイメージアップ(子どもへの教育、加賀友禅とバンクシーなどの異文化コラボレーション等)
 - －職人の英語教育の推進(海外とのコミュニケーションの活発化、商品の販路拡大)
- ・今ある資源×新しい価値で、人を集める仕組みづくり
 - －金沢の食・文化・伝統などの様々なランキングを市民投票で行うイベントを開き、「金沢といえばコレ！」を生み出す
- ・伝統産業のビジネス化のために IT 産業と連携・融合
 - －PRにおいてITを積極的に導入し、先端的な企業や地域とのコラボレーションを図る
- ・成果、アウトプット、タスクを重要視した自由な働き方の推進で企業や人を誘致、女性の地位向上
- ・一匹狼になっている人を受け入れ、皆で認め合う
 - －協力することで大きな力になり、そして新たなビジネスを生み出す

テーマ⑤ 都市づくり(都市基盤、交通)

・金沢らしさを追求し、市民の愛着心、生活を街に根付かせる

- －歩車分離のまちづくり(百万石通りは歩行者、昭和通りは自動車だけにする等)
- －日常生活に伝統・文化を取り入れ、均一化されていないローカルな店やまちなみを残し、生業をつくる

・「多様な」市民の暮らしの充実と、来街者への魅力発信による、まちなかの賑わい創出

- －まちなか施設、イベントの充実(映画館、定期市場、図書館、カラオケ教室、身体を動かすイベント)
- －日常的、定期的なイベント等が開催される場所の創出(南町の空き地へのまちなか大学設置など)
- －旅の前に金沢を体験できる仕組みづくりや、市民や来街者が交流できる場所・たまり場づくり

・市民と来街者で課題を解決できる共創都市金沢

- －地域の雪かきを観光客が体験できるコンテンツづくり、空き家の移住希望者等への短期的な貸出

・人の動きをデータで把握し、市民にも来街者にも便利な交通の整備

- －市民と観光客の両方が利用できる自転車の貸し出し(高齢者用には三輪車等)、自転車置き場の充実
- －バス環境の改善(運行経路の再編、乗継割引の拡充、金土祝深夜バスの設定、待ち時間有効活用策)
- －自転車を乗せられるバス、DMVの導入、ラストワンマイルの充実